
憂鬱なる異世界・・・・？

黒羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

憂鬱なる異世界……？

【Nコード】

N2822N

【作者名】

黒羽

【あらすじ】

主人公 黒霧刀弥はコンビニにプリンを買いに行くためにトンネルを通ると……異世界だった。

生き残って帰ってくるのが……？

プロローグ（前書き）

えー作者の黒羽と申します。

頑張りますんでよろしくお願ひします！

ってなんか感じで今どっか知らないといますすってか間違ひなく
は地球じゃない。

まあその理由は後ほどに.....

プロローグ(後書き)

これ………どうぞ続けよう………

一話 マジかよ……？能力げつとwww

「ごめんなさあああああああああい！！！！！！！！」

うおーびびったw

ん？こんなところに土下座している幼女がwwwwww

あー、とりあえずおもちかえ………落ち着け俺はロリコンじゃない！ハズ……。

まあとりあえず事情聞くな

「どうしたの？幼女。てかなんでこんなとこにいるの？おうちは？」

「よ、幼女じゃありませんっ！！私は神のミリアっていいますっ！実はですね……私は放浪神っていつているんな世界を回るのを楽しむグループにいるんですが次元の扉をあけてこの世界に来ようとしたときなぜだかあなたが入ってきてしまったんです。

よってなぜ謝ってるかというと元の世界に戻ることはできないからなんです……」

「うわ………マジ？」

「マジです。本当に申し訳ありません……………」

「もう家族や友達に会えないと……………」

「ええ…………。すみません……………」

「いや…………許す!」

「ヒッ! すいません!!!!…………え?」

「ほ、本当ですか?」

「いいよ許すからw」

「何で許せるんですか!? 私の…………不注意のせいなのに……………」

「いいっていいって（笑）だってさ俺はさ……こういう展開を夢見てたんだよ。」

「どういふことですか？」

「俺って学校ではいじめられてたんだよ。しかも親も仕事も家事も何もせずにパチンコいって借金ばっか作って帰ってくるアル中だったしさ、むしろ会えなくなっただけで幸せかもしれない。だからうれしいんだよ。とってもね」

「そう……だったんですか。」

「ああ。だから気負う必要性はないよ^^」

「あり……グス……がとうございます……。」

「きにすんなっ！俺は全く気にしてないからさっ」

「えっと、じゃあお詫びに三つ願いを叶えますねっ！」

「じゃあ一つ目はとある魔術の禁書目録の能力をすべてLevel 5の強さで使えるようにしてくれ！」

「それってもはや絶対能力者ですよね……？」

「そして二つ目は創造・召還を無制限でできるようにしてくれ!」

ボソツかみのりょういきですよ〜そこまでいくと……。

「三つ目はこの世界の知識をくれ!」

「わ、わかりましたっ!では叶えますね!」

楽しみだな……どんなエフェクトg「終わりました!」

何もなかったか……。

「あ、ついでにあなたの容姿を十人が見て十人が振り返っちゃうぐらいの女の子にしちゃいました

サービスですよ///

一話 マジかよ……？能力げつとwww(後書き)

え、更新遅れてすみません；
これからがんばります！！

世界・人物せつめー！

主人公 黒霧刀弥

・ いたって普通な高校二年

・ 身長175cm 体重60kg

・ 顔 上の中

・ 性格 優しいがキレるとことん冷酷になる。

・ 好きなもの とある魔術の禁書目録全巻

・ 嫌いなもの 腐った人間

・ 能力 ・ 禁書の能力すべてLevel15程の強さで使える

・ 創造・召還が無条件で可能

一言「女での名前まだ決めてねえ・・・orz」

ミリア

・かわいらしさを司る神 放浪神という神々のグループに入っていてさまざまな世界を放浪している。

・身長120cm 体zy「秘密ですっ!!知ったら存在消しますよ!」 幼女

・顔 神

・性格 割と自分勝手だがやばいぐらいかわいい ロリコンほいほいできちゃう

・能力 神の能力(生命の創造・異世界移動 他)

一言「黒ちゃんかわいい//////////」

世界

日本のある地球とは全く違う世界で、魔法と剣のある世界。

ミサカ帝国・トウマ共和国・カオリ民主国・土御門メイド王国・ステイル皇国の五つの国に分かれている。黒「完璧にネタに走ってるだろ……特に4つめ……」

勢力の強さ的にはミサカ カオリ 土御門 ステイル トウマとなっているがなぜかトウマ共和国はイレギュラーな策でほかの国を実はびくびくさせている。

土御門メイド王国は何故か兵士が巨大なバズーカを装備したロリメイド。にもかかわらずすべての戦いで死者が何故かいない。

ミサカ帝国は電力を用いた兵器でほかの国に勝っている。国民は何故か語尾に「と は考えます。」等の言葉を付けるのがブームになってるらしい。亜種で「 は ははっちゃけながらやってみるっ！」等の言葉の人もいる。

カオリ民主国は皆仲間思いでリーダーシップが発揮できるイイヤツ

ばかりな国。個々の戦闘力が高い。
ステイル皇国は・・・・・・・・・・・・・・・・ロリコンが多い。

3話 名前・・・・・・・・（前書き）

四月朔日さん感想ありがとうございます！
とても嬉しかったです！これからもお願いします！

3話 名前……………。

「あのさ……………ミリア」

「なんですかー？」

「死んで？」

「神なので無理ですよ」

「何で？」

「物語上の都合ですよ」

「ふむ……………どうするか……………」

「黒羽……………黒羽クロウにしよう!」

「なんかただペンネームを入れたかっただけじゃないですかー?」

「だろうな……………だって作者チャットだろうがネットゲだろうがブログだろうが何でも名前黒羽だからな」

(うつせーな!だって好きなんだよ!しょうがないじゃん)

「まあいいんじゃないですかー?ていうか今作者の声が?」

「気のせいだ。きにするこないさ(笑)」

「ですよね〜(笑)」

「とりあえず黒つでけてー!」

「ばちばちばちばちー!」

「さて、まずこの森出るかな〜」

「いやあすいません私神なのでこの世界に元々いた人に介入したらこの世界の神に消されるかもしれないので一緒に行けないんですよ……………」

「……………しょうがないか……………」

「ごめんなさい……………でも頑張ってくださいね」

「じゃあな」

「さよならです」

続きます

4話 少女！（前書き）

いやぁ現在テスト期間中のために更新遅れてすみません；；
これからも頑張ります！

4話 少女！

「そう。怪我とかないか？」

「あ／／／／／ありません！！！」

（なんか、急に真っ赤になっただけど熱でもあるのか？）

「あー、とりあえず自己紹介をしようか。俺は黒羽、十七歳だ。君は？」

「ええっと、私はシャルって言いますっ！」

「よろしくねシャルさん。で何でこんなところにいてなんで追われてたのかな？」

「さんはつけなくていいですよ／今日料理に使おうと思ってた野草と売するための薬草を採りに来てたんですよ。そしたら偶然縄張りに入ってしまったって……。」

「ほう………。じゃあさ、護衛についてあげるからとりにいこっか？」

「いえ、もう必要な分はとって帰り途中でしたから大丈夫ですっ！」

「そっか、じゃあこれからどうしようかな……。」

「は衣着てy」シャアアアアアアアアアアアアルウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウウ！！！！！！」
「おわ!?!」

シャ「エリスおねえちゃん!!」

エ「よかったあ……無事で……さつき獣の叫び声が聞こえたから不安で不安で……」

シャ「実はさつきおそわれちゃったんだけどこの黒羽さんが助けくれたの!!」

エ「私の妹を助けてくださってありがとうございます!」

黒「いえ、気にすること無いですよ!」

エ「何かお礼を……」

黒「いえ、たいした事はしてないので!」

シャ「そういえばさつきから気になってたんですけど、何で男言葉なんですか?」

黒「これは癖だから気にしなくていいよ」

エ「にしてもきれいな方ね。ボソツメイド服似合いそうね……」

(なんか寒気がしたような……)

「シャ」とりあえず村へ行きましょー！

黒「そっだね」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2822n/>

憂鬱なる異世界・・・？

2010年11月21日10時54分発行